令和６年１１月２２日発行

あつま 生涯学習だより

発行　厚真町教育委員会　電話２７－２４９５

主な記事

①図書フェスティバル
②厚真町文化祭ウィーク／秋の天体観望会
③令和６年度教育委員会表彰／冬季休業学習会「アツマナビ」について／令和６年度二十歳のつどい開催について
④全国学力・学習状況調査 結果公表／10月定例教育委員会
⑤図書室だより
⑥放課後子ども教室活動報告

読んで、観て、作って楽しむ

図書フェスティバル２０２４

１１月３日（日）、文化の日に合わせて青少年センターで図書フェスティバルを開催しました。通常の本の貸出に加え、リサイクル図書・雑誌配布コーナー、オリジナルしおり作り、毛糸を使ったポンポンのクリスマス飾り作りなど５つのコーナーを開催し、各ブースは、子どもから大人まで約１００人の来館者でにぎわいました。

しおり作りでは、数種類のデザインの中から自分の好きなしおりを選び、色画用紙や栞紐で個性を出しながら皆さん思い思いに製作していました。また、ポンポンのクリスマス飾り作りのコーナーでは、毛糸のポンポンの毛先をハサミで整え、針金を通しリースを作りました。小さな子どもから大人の方まで、きれいな真ん丸を目指してハサミを動かしていました。

また、今回は株式会社サッポロドラッグストアーによる「デジタルそろばん　そろタッチ体験会」のブースも設置。そろタッチとは、タブレット上のそろばんを両手で操作することで暗算を習得する教材で、子ども達は対戦ゲーム形式での計算学習に挑戦し、たいへん盛り上がっていました。

これから長く続く冬の季節、家の中にいる機会も増えることでしょう。そんな時には、ぜひ、読書や工作、新しい学びに挑戦してみてはいかがでしょうか。

そろタッチ体験会で盛り上がる子ども達の様子

初めての試み！展示期間を延長して初開催！

厚真町文化祭ウィーク

例年、２日間のみの開催だった厚真町文化祭ですが、今年度から、より多くの方々がたくさんの作品に触れる機会を設けようと、展示期間を延長し「文化祭ウィーク」と名称を改めて開催しました。中央地区は１０月２８日（月）～１１月３日（日）の間、厚南地区は１１月２日（土）、３日（日）の両日、展示や芸能発表、食堂バザーなどを開催し、両地区合わせて 1,283 点の展示、延べ 1,000 人を越える来場がありました。

また、１１月４日（月・祝）には、文化祭ウィークのフィナーレとして、歌手の加藤登紀子さんによる「百万本のバラコンサート」を開催し、町内外から 329 人の来場があり、力強い歌声に酔いしれました。コンサートでは、町内で活動する日本舞踊教室「哉メ座（かなざ）」とあつま手話の会「てのひら」とともに、名曲「百万本のバラ」の歌に合わせて日本舞踊と手話を披露し、ステージを盛り上げました。

今年度から新たに始まった文化祭ウィークですが、来年度もより多くの方々が文化・芸術に触れられる機会となるよう、創意工夫しながらの開催を考えていきます。

10 月 28 日（月）開催式でのテープカットの様子

加藤登紀子さん「百万本のバラコンサート」の様子

見上げてみよう厚真の星空

秋の天体観望会

１０月３０日（水）、青少年センターで秋の天体観望会を開催し、町内外から訪れた３８人の皆さんが秋の星空観測を楽しみました。

天体観望に先立ってプラネタリウムの投影を行い、この季節に見える星や星座にまつわる物語などを解説したのち、屋上に移動し、実際の星空を眺めました。今回の観望会では、青少年センターの天文台大型望遠鏡に加え、今年新しく導入したデジタル天体望遠鏡を活用し、タブレットを用いてさまざまな恒星を観察しました。

プラネタリウム投影の様子

星空を見上げる参加者の皆さん

令和６年度厚真町教育委員会表彰
尾谷　純司さん（本郷）を表彰

１０月３１日（木）厚真町総合福祉センターで、令和６年度厚真町教育委員会表彰式が行われました。

今年度は、本郷の尾谷純司さんに、遠藤教育長から感謝の言葉とともに表彰状が授与されました。受賞者の功績は下記のとおりです。

尾谷　純司さん

平成18年4月から平成27年4月まで厚真町子ども会育成連絡協議会役員として、平成27年5月から会長として17年余にわたり本町の子ども会活動の発展及び青少年の健全育成に貢献

冬休み期間中の学習会「アツマナビ」開催します！

教育委員会では、毎年、長期休業中に生活習慣や学習習慣形成や異学年との交流を目的とした学習会を実施しています。今年度も、下記のとおり冬季休業中の学習会を開催します。各小中学校を通じて、案内チラシを配布していますので、ぜひ、ご参加ください！

○中央地区
日時：令和７年１月７日（火）、８日（水）
　９：００～１１：００（小学１年～４年）
１３：００～１５：００（小学５年～中学３年）
場所：厚真町総合福祉センター２階青年室

○厚南地区
日時：令和７年１月９日（木）、１０日（金）
　９：００～１１：００（小学１年～４年）
１３：００～１５：００（小学５年～中学３年）
場所：厚南会館

【申込方法】
各小中学校で配布された申込用紙に必要事項を記入し、１１月２９日（金）までに各小中学校へ提出をお願いします。
【問い合わせ】教育委員会社会教育グループ　☎２７－２４９５

令和６年度二十歳のつどい開催について

今年度も下記のとおり、二十歳のつどいを開催します。

対象者へは１１月中旬にご案内状を送付していますので、ご確認をお願いします。

【令和６年度第３回二十歳のつどい】
日時　令和７年１月１２日（日）
　　１０時３０分～１２時００分
場所　厚真町総合福祉センター
対象　平成１６年４月２日から平成１７年４月１日までに生まれ、本人または保護者が本町に在住している方
※以前厚真町に在住していた方で、参加を希望する場合は、教育委員会へご相談ください。

昨年度の二十歳のつどいの様子

【問合せ】
教育委員会社会教育グループ
☎２７－２４９５

令和６年度 全国学力・学習状況調査 結果公表

これからの未来に求められる資質・能力の育成を目指して

厚真町教育委員会では、１１月に「令和６年度全国学力・学習状況調査」に関わる結果を町ホームページに掲載しました。小学校第６学年は国語・算数、中学校第３学年は国語・数学、児童・生徒質問が実施されました。厚真町の子どもたちの結果は下記のとおりです。

※数値は「平均正答率」で、「%」を表しています

【小学校第６学年】

	国語	算数
厚真町	**６３**	**６０**
北海道（公立）	６７	６１
全国　（公立）	６７．７	６３．４

【中学校第３学年】

	国語	数学
厚真町	**５１**	**４５**
北海道（公立）	５８	５１
全国　（公立）	５８．１	５２．５

児童・生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合

	小学校第6学年	中学校第3学年
厚真町	**９５**	**７７**
北海道（公立）	８３	７４
全国　（公立）	８４	７６

「令和６年度全国学力・学習状況調査」の詳細な内容については、右のＱＲコードからアクセス可能な厚真町のホームページで確認できます。ぜひ、ご覧ください。

厚真町ホームページ

町では、平成３１年度から小中一貫教育に取り組んでおり、４小・中学校が統一した「厚真スタイル」の授業を通して子どもたちの主体性・協調性を育み、「厚真の未来を語れる子」の育成を目指しています。令和３年１月の中央教育審議会による答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」に示されているとおり、予測困難な時代である今、「自立した学習者」の育成が求められています。今年度の結果では、本町の子どもたちは、すべての教科において全国と比べ「ほぼ同様か低い」という結果でしたが、これまで以上に一人ひとりを見つめ、探究的な学びを推進し、これからの未来に求められる資質・能力の育成を目指してまいります。また、児童・生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、全国と比べ「高い」結果となりました。地域の皆さんには、ふるさと教育をはじめ、多大なるご協力をいただいており、「厚真の未来を語れる子」の育成に向けて成果が表れていることに感謝申し上げます。今後も、本町の子どもたちのためにお力添えをお願いいたします。

10 月定例教育委員会

１０月３１日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

令和６年度小学校プール利用の実績について／学校給食センターへの食材等の寄贈について／１０月定例校長･教頭会議について／イナウ製作体験（町教委共催）／カムイノミ･イチャルパ（町教委共催）／厚真町スポーツ少年団連絡協議会環境美化活動（町教委共催）／第２４回健康ふれあいマラソン大会/桜丘チャシ跡とアイヌ民族の歴史ツアー／第３回ディスカバリーカルチャー「プラネタリウム×ダンス」／鳥インフルエンザ防疫対応について／他１件

◆その他

在宅勤務の実施について／体育振興及び文化振興行事参加費補助金の緩和措置について／令和６年度胆振管内教育委員会委員研修について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ

☎２７―２４９４

図書室だより

令和６年１１月２２日発行

青少年センター図書室
☎２７－２４９５

図書フェスティバル　終了！

ご来場いただきありがとうございました

図書室では、３種類のしおりづくりを開催しました。クラフトパンチで紙を切り抜けないというハプニングがありましたが、自由な発想でしおりをデザインして、約20人の方に参加していただきました。カッターやハサミを使用したので、ケガに注意しながらの作業でしたが、皆さん1人ひとりの素敵なアイデアしおりが完成し、楽しかったです。

また、辞書を使って解くクイズに挑戦してくれた方もいました。普段使わないようなことわざや漢字を選んだクイズでしたが、右に紹介しますので、皆さんもチャレンジしてみてください。

毎年、「図書室らしいフェスティバルとは？」と頭を悩ませながら企画しています。来年も皆さんに楽しんでいただける図書フェスティバルを作っていきたいと思います。

挑戦してみてね！

・木は7月、竹は8月に切るのがよく、土塀（どべい）は10月に塗るのが良いということわざ
〇〇〇〇〇〇〇（漢字7文字）

・神はすべてをお見通しで、悪いことをすれば必ず天罰がくだるということわざ
〇〇〇〇疎にして漏らさず（漢字4文字）

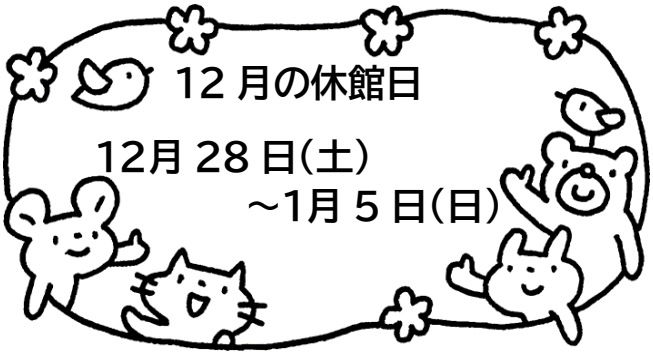
・うわべを見ただけでは性格や人柄はわからないということわざ
あの声で〇〇食らうか〇〇（漢字 2 文字ずつ）

・漢字で書いてみよう
「ひじき」 → 〇〇〇
「カメムシ」 → 〇〇
「アンモナイト」 → 〇〇
「おくら」 → 〇〇〇

今年も受付します！

2024年読書記録帳

令和6年1月から12月までの間に図書室で借りた本を小冊子にしてお渡しします。ご希望の方は、青少年センター図書室カウンターまでお申し込みください。お渡しは令和7年1月以降です。



■青少年センター図書室開館時間
９時 00 分～１７時 00 分（月・水・金・土・日）
９時 00 分～１９時 00 分（火・木）
※祝日、年末年始は休館となります。
■厚南会館図書室
９時 00 分～17 時 00 分（月～日）
※毎月５日・20 日が土日・祝日の場合は休館となります。

12 月の「おはなしのびっ子」はおやすみです

☆放課後子ども教室活動報告☆

秋の日は釣瓶（つるべ）落としと言われるように、放課後教室の活動が終わる頃には、すっかりとおひさまは１日の役目を終えて地平に沈み、薄明かりが残る程度。雪がちらつくのも間もなくでしょう。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、体調管理にも気をつけたいところです。

１０月の子ども教室では、フィンランド生まれのスポーツで、木製のスキットルというピンをめがけて、ボーリングのように木の棒を投げて倒し、得点を競う『モルック』。今年の８月には世界大会が函館市で開催され、話題になっているスポーツを子どもたちと一緒に体験しました。最初は投げる木の棒（この棒のことをモルックと呼ぶそうです）がなかなかスキットルに当たらず、苦戦していた子どもたちでしたが、投てきの回数を重ねるごとにコツをつかみ、白熱した試合が繰り広げられました。モルックは、所定の得点にピッタリ達した方が勝ちとなります。所定の点数を超えてしまうとペナルティがあるため、得点を足し算して調整をしていかなければなりません。このゲームもキンボールと同様、仲間としっかりコミュニケーションをとり、作戦を実行していく面白さがあります。運動が得意であるかどうかだけではなく、その場の状況をより良く判断して、チームをつくっていく力も養える良いスポーツだと感じました。

近年、すっかり定着したハロウィン。放課後子ども教室では、モノづくりのプログラムでハロウィン気分を味わいました。ひっくり返した紙コップの側面に、１センチ幅に切った布や折り紙などを貼り付け、まるでお化けのように装飾し、その中に親指サイズほどの小さな懐中電灯を入れたオバケランプをつくりました。飾りの隙間からゆらゆら揺れる光を楽しんでいる子どもたちでした。

実りの秋を楽しもうと、１１月の前半は近隣の自然探検に出かけました。今年は木の実が豊作で、子どもたちと一緒に栗拾いや種集めを楽しみました。種集めでは、ドングリやモミジの種を拾ってポットに植え、芽が出てくるか春までの長い期間で大実験をしてみることに。どんなふうに成長するか、子どもたちと一緒にワクワクしながら待ってみたいと思います。学校林の探検では、木と木の間にかかっている状態の木を発見。落ちたり倒れたりしないか、安全を確認した上で登ってみると、シーソーのように揺れるので、子どもたちにも大人気でした。シカの足跡を辿って、斜面を登ったり下りたり、穴を掘って落ち葉を溜めてみたり、子どもたちの発想の豊かさを受け止めてくれる森遊びは、やはり貴重な体験だと感じています。また雪が降ったら遊びに行こうと思います。